

# 日本の文学（近・現代）

選択(2単位) 木2時限 教員氏名：伊藤 みちる

開講年度 2017年度

開講学期 2017年度（後期）

**【授業種別】** 授業は、週1回(90分)で15週。欠席が3分の1以上の場合は不合格となる。遅刻と早退を計3回すると、1回の欠席となる。また30分以上の遅刻と早退は欠席とする。

**【授業概要】** 明治時代から現代における文学の流れを見ながら、日本と日本人の変化にも目を向け、文学の鑑賞だけでなく、日本史や社会事情にも触れる。さらに日本語教育教材としての日本語でなく、実際に文学作品の中で使われている日本語に触れることにより、日本語に対する更なる理解を深める。

**【授業計画】** 明治以降の文学を紹介し、代表的な作家の作品を鑑賞する。授業では、文学作品の一部の鑑賞に留まるが、語彙数別・難易度別に紹介する文学作品の中から、最低2作品を選択し各自読み進めることを課す。

**【授業内容】** 時代背景やその時代の文学史上の特質に関する講義を行い、その時代の作家と作品の鑑賞を行う。文学作品にはオノマトペや位相語、表現のゆれが豊富に含まれているため、逐一注意しながら、実際に使用されている例を通じ理解を進める。代表的な作品の中で高レベルな語彙が使用されている作品については、作品をベースに制作された映像を教材として使用する。

**【評価基準】** 授業出席3分の2以上を評価対象とする。提出物（読書感想文）をもとに評価。評価基準は以下のとおり。

1. 字・語句・文章について。表記・表現が正確であること。
2. 理解力・判断力等について。内容が正しく把握されていること。
3. 自分個人の経験や価値観に基づいて、豊かな情操の表現を用い、独自の感想が的確に表現されていること。

S (100~90点) A (89~80点) B (79~70点) C (69~60点) D (59点以下)

**【教材】** 初回の授業時に提示する。参考文献・資料などは適宜紹介する。

**【その他】** 質問等は授業後若しくはメールにて受け付ける。オフィスアワーやメールアドレス等の連絡先は初回授業時に伝える。